

「根気よく悟らせて下さる主」(2025. 9. 21)

するとまた声が聞こえてきた。「神が清めた物を、清くないなどと、あなたは言ってはならない。」ということが三度あり、その入れ物は急に天に引き上げられた。(使徒言行録 10:15, 16)

昼時、空腹を覚えながら祈っていたペトロは幻を見た。天が開け、四隅をつるされた大きな布が下りてきて、中に清くないとされていた動物が入っていた。すると天からペテロに屠って食べなさいと声があったので、ペトロは「主よ、とんでもないことです。」と言って拒否します。すると「神が清めた物を、清くないなどと、あなたは言ってはならない。」と諭されます。なんとこのようなことが3度も繰り返されたのである。



一体この幻は何だろうかと思案していると、百人隊長コルネリウスの使者3人がペテロを尋ねてきます。すると聖霊が「ためらわないで一緒に出発しなさい。」と促します。こうして異邦人伝道の扉が開かれたのですが、この出来事を通してのちにペテロは「神は人を分け隔てなさらないことが、よく分かりました。」と告白するのである。

このようにペテロの意識を変えるのに、同じことを三度も主は根気よく繰り返されたのです。ふと気づいた。私たちも同じ扱いを受けていると。聖餐式である。主の御体を食べ、主の御血を飲む度ごとに、罪の赦しと主の現臨を思い起こすのである。「子よ、安心しなさい。わたしはいつもあなたと共にいる！」1年に15回も根気よく繰り返し語られる主の愛の御声を私たちはしっかりと受け止め、ペトロのように「よく分かりました！」と告白する者になりたい。

先週、80歳以上の長寿に恵まれた方が祝福を受けた。モーセは80歳にして召命を受け、イスラエルをエジプトから連れ出した。まさに80歳以上だから託される奉仕があるに違いない。「子よ、安心しなさい。わたしはいつもあなたと共にいる！」どうか、根気よく繰り返し語られる主の愛の御声を心に響かせ、日々平安のうちに、主への奉仕に励んでいただきたい。

